

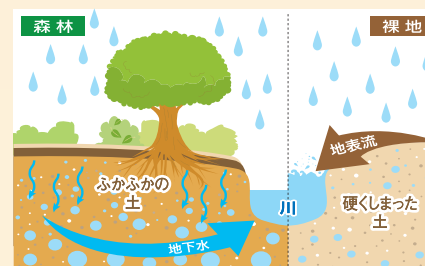
VOL.2 森林がないと洪水? 水不足?

雨がたくさん降ると、校庭や道路には水たまりができますが、森林の中では見られません。どうしてでしょう? 森林の土は、長い間に落ち葉が積み重なり、スポンジのようにふかふかで、水がしみこみやすいからなのです。

このため森林では、大雨が降ってもすぐ川に流れ込まないので、洪水に

なるのを和らげ、また、たくわえた雨水はゆっくりと川に流れ出るので、たとえ日照りが続いても水不足になりにくいのです。

このように森林には、川の水量をうまく調節することによって、安全で快適な暮らしを守る働きがあるので、「緑のダム」といわれています。



森林に降った雨はしみこんでゆっくり流れ出るが、草木のない裸地ではすぐ川に流れ込んでしまう



岡山県マスコット ももっち

水資源のかん養や土砂流出の防止など、森林の持つ様々な公益的機能をダム建設費等に置き換えて評価すると、県内の森林は年間1兆3,054億円(県予算の約2年分)、県民1人当たり毎年約70万円の恵みをもたらしています。

おかやま森づくり県民税は、岡山の森林を守り育てるために活用されています。

おかやま森づくり県民税

検索

岡山県農林水産部林政課